

上条 報告

第78号
平成27年 11月

甲州市教育委員会
☎32-5076

全国伝統的建造物群保存地区協議会

関東・甲信越静ブロック会議に

参加してきました

栃木県栃木市で開催された平成二十七年全国伝統的建造物群保存地区協議会 関東・甲信越静ブロック会議及び担当者研修会に参加してきました。研修会では「伝建地区の利活用」と題する基調講演があり、現地視察では、栃木市嘉右衛門町重伝建地区の視察を行いました。

十月十五日には文化庁にて「伝統的建造物群保存地区 制度創設四十周年記念シンポジウム」が開催され、上条からも七名のご参加をいただき、シンポジウムへ行ってきました。

【栃木市嘉右衛門町重伝建地区の概要】

栃木市の中心市街地の北側に位置し、中央を南北に日光例幣使街道が通っており、その通り沿って敷地割りがされ、江戸時代から商家として繁栄した地区です。建物の特性としては、通りに面して主

屋を建て、その背後に蔵等の付属屋を並べます。主屋は、店舗部と住居部から構成されています。



平成二十七年年度

全国伝統的建造物群保存地区協議会

関東・甲信越静ブロック会議

十月二十二日から二十三日にかけて、栃木県栃木市で開催されました。ブロック会議のあと、担当者研修会が行われ、基調講演では、開催市に所在する嘉右衛門町重伝建地区において行政とともにその利活用に携わる国立小山工業高等専門学校建築学科の横内准教授から「伝建地区の利活用」について、各地の重伝建地区での取り組みをご説明いただきました。

この基調講演では、二つのお話をいただきました。ひとつは、伝建地区の防災に関する話。もうひとつは、歴史的建造物の利活用に関する話です。

【関東・東北豪雨の被害について】

栃木市は九月の関東・東北豪雨で大きな被害があり、嘉右衛門町重伝建地区でも約三分の一が浸水してしまつたといわれています。このような中であつても災害後二週間で五十名以上が伝建地区内の保全を手助けする体制が構築できたそうです。

このような災害時に問題となるのが、「一般家屋も被災している中で、文化財をどのように守るか」ということです。



写真1 関東・東北豪雨



写真2 栃木市内（広報とちぎより）

基調講演のなかでは、応急対応期（被災直後の対応）にどの程度行動できるかが重要である、とのお話がありました。この応急対応期には、近隣の安否確認、建物の応急養生、瓦礫の片付けなど多岐にわたり、これを迅速におこなうには、いくつもの団体が連携をとり、支援体制を早期に構築することが重要である、とのことでした。

【上条集落の防災】

上条では、伝建地区内の防災設備整備にあたり、来年度より防災計画策定に取り組み予定です。その後、この防災計画に基づき、防災設備を設置及び整備してまいります。

また、防災組織づくりの重要性を改めて感じました。地元にお住まいの皆様や自治体はもとより、消防団、NPOや大工など各団体と連携を図り、支援方法や体制を構築すること、また、防災訓練などを実施することで、日頃の防災意識の向上と各団体との連携確認も大切であると感じました。

【歴史的建造物の利活用について】

今回のブロック会議と研修会のなかで「伝建地区内の高齢化」と「空き家の増加」を課題に挙げる地区担当者が多くいました。

基調講演のなかでは、伝建地区内の空き家をさまざまな方法で改修し、また利活用する各地区の事例が紹介されました。参考となりそうな事例をご紹介します。

●建物改修の一部をボランティアにお手伝いいただく事例

NPO法人が維持困難な建物の所有者から依頼を受け、建物改修のお手伝いをします。

NPO法人は、ボランティアを招集し、片付けや

簡易な大工、左官作業を行います。改修された建物は、店舗やギャラリー、個人住宅として再利用されます。



写真3 ボランティアによる改修作業

●サテライトキャンパスやサテライトオフィスとして活用する事例

空き家の活用事例として、教育機関（大学など）の学習の場として、また企業のオフィスとして活用される事例があります。教育機関や企業の利点は、普段と違う環境で、また、地域とのふれあいを感じる環境で、普段できない経験や広い考え方を得ることができ、これを学習や創作活動に反映できるところにあります。



写真4 サテライトキャンパス

十月のいきいじ

【伝統的建造物群保存地区 制度創設四十周年記念シンポジウムへの参加】

十月十五日に文化庁にて行われたシンポジウムでは、伝建制度の四十周年及び重伝建地区が百地区の大会に達した記念と、現代社会において求められる伝建制度の在り方が議論されました。ここでは、他地区

における防災や他団体との協力による活動事例の発表がありました。



写真5 シンポジウムの様子

【塩尻市平出地区の上条重伝建地区視察】

十月三十一日に長野県塩尻市平出地区の皆様が上条の視察にいらっしやいました。平出地区は、塩尻市の北東部に位置し、主産業は石灰の採掘から現在では果樹栽培へと転換した農村集落で、伝建地区の選定を目指し活動している地域です。

午後からは上条の皆様にもお集まりいただき、観音堂にて懇談会を行いました。ここでは、平出地区の皆様から伝建選定にかかる不安などの質問があり、これに対して上条の皆様が実際に経験したことをお話いただきました。平出地区とは車で二時間の距離にありますので、これを機にお互いに情報交換ができると思います。



写真6 平出地区の皆様の
上条視察



写真7 懇談会の様子

【お知らせコーナー】

※参加申込みは文化財課まで（☎三二一五〇七六）

塩山の歴史的風致散策

甲州市の歴史を知っていただくため「歴史的風致散策」を開催します。今回は恵林寺、放光寺など、塩山松里地区をご案内します。

日 時 十一月二十日（金）県民の日

集合場所 午前九時～午後三時

参加場所 甲州市役所駐車場

参加費 無料（保険代を当日徴収）

※昼食をご持参ください

第四回上条集落見学会

集落を一望できる地点への登山です。木々の紅葉と相まった素晴らしい景色を見に行きます。

日 時 十一月二十九日（日）

集合場所 午前九時～午後三時

参加場所 福蔵院駐車場

参加費 無料（保険代を当日徴収）

※昼食をご持参ください

突上げ屋根の「口」を作ってみました！

ご意見をお聞かせください。

